

憚りながら口上を以申上奉り升ル私儀昨年大坂表江
罷のぼり候処あの地においても誠に厚ふ御ひいきに
被成下御評判宜舗御取立被成下置候段是偏に

御江戸八百八町之御臈原様方之誠に御蔭

を以ての義と冥加至極心魂にてつし難有

仕合に存奉升夫に付ましても古郷

御江戸の難有さはは御馴染の

御ひいき様方しきりと御なつかしく

このまひ古郷にかざる錦の花の

嘉恵利咲に小春のころとともに

浮立ころの悦び當着仕候御取立

厚き私義相生の松の相かわらず菊

重ねのい久ゑにも重松扇の末廣く

松柏ともに幾代をかけ御ひいきの程を

希上奉升

錦樹や古すへ

蕾の嘉恵利咲

三代目梅幸